

●フレーム

CB250Rでは、クラス最軽量*の完成車重量に大きく寄与する新設計のフレームを採用しました。
フレームのねらいは

市街地で楽しめるハンドリングを提供するフレーム構成

フレームは、靱性に富む高張力鋼のパイプと鋼板で構成。各部材が受け持つ役割を明確化することで高い運動性能と軽量化を成立させました。

リアクッション上側マウントと一体化させた鋼板製のピボットプレート部は、メインフレーム部とは独立した構成とし、強度的に最適な形状を与えることでリアクッション荷重に対する強度をこのパートで完結させ、ヘッドパイプからシートレールにかけてのメインフレーム部を後輪入力からのストレスから切り離しました。これによりメインフレーム側の強度を最適化し、パイプとプレス鋼板の薄肉化による軽量化を図りました。

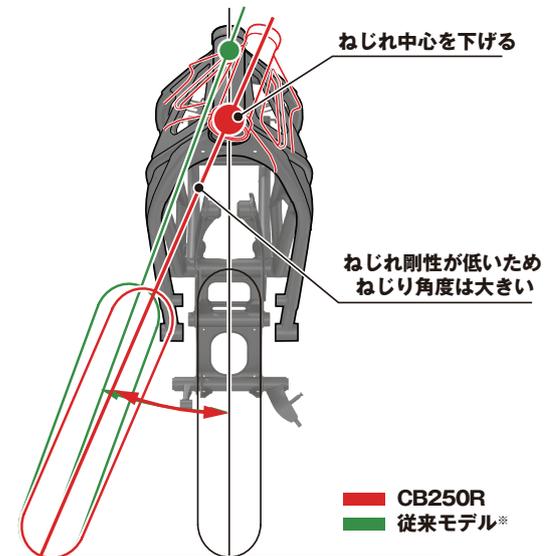
※250ccオンロードスポーツクラス Honda調べ2018年3月時点

■フレームCGイメージ



同時に、ねじれ剛性の基部となるメインパイプをヘッドパイプ下端に接合した構成とすることで、ねじれ中心を下げました。これにより、軽量化に伴うコーナリング時などのねじれ増大が生む前輪接地点変化を抑え、安定感のあるハンドリングを実現しました。また、メインパイプとダウンチューブを繋ぐ部材に薄板プレス鋼板を採用し、車体ピッチングを抑制する縦剛性を確保しました。

■フレームボディねじれイメージ図



※Honda同クラス単気筒オンロードモデル